

(表紙)

都市防災事業計画(第6回変更)

静岡県西伊豆町

令和5年6月
令和6年6月

上段:変更前[第5回変更](黒字)

下段:変更後[第6回変更](赤字)

(様式1) 整備方針等

整備方針等

【防災まちづくりの現状及び課題】

西伊豆町は静岡県の東部、伊豆半島の西部に位置し、東は河津町、西は駿河湾、南は松崎町、北は伊豆市に面しており、伊豆半島の中央にある天城山系の急峻な山岳から数多くの山並みが海岸まで迫り、それらの山の谷間には、天城山系から海岸に注ぐ河川に沿ってできた平地に宅地が集中している、総面積105.52km²、人口8,083人、高齢化率48.7%の小さな町です。

当町では、静岡県が平成13年に発表した「第3次地震被害想定」に基づき水門や陸閘の自動化・遠隔化などの整備を行うとともに、自主防災組織の育成や津波避難訓練などの防災対策を行ってきたところですが、平成25年に発表された「第4次地震被害想定」では、最大震度6強、最大津波高15m、津波浸水域2.5km²が想定され、死者数も人口の半数以上である約4,300人にまで達する見込みであるとの試算結果が出ました。また、津波第1波が5分未満(H=30cm)で到達するため、地震の揺れが続く時間によっては、避難行動を取ることさえできないまま被災してしまう可能性もあります。

このような中、多様な災害リスク(地震、津波、水害、土砂災害)に対する必要な防災対策として、平成30年度から防災力向上事業に取り組んでおります。

当事業については、住民一人ひとりの防災意識(防災力)の向上を目的とし、町内の地域を5つのブロックに分けて、各ブロックごとに自主防災会の会長や防災委員、民生委員・児童委員、教育機関の長、消防団員、警察、医師、社会福祉協議会、災害ボランティアなどが参加し、各地域における課題や問題点などについて話し合い、地震と津波のリスクに対しては、避難場所の見直しや設置、避難ルートの設定、個別避難計画の作成、アフタータイムラインの作成などを行い、水害・土砂災害のリスクに対しては、コミュニティ・タイムラインの策定、地区防災マップの作成、命を守るハザードマップの作成などを行い、最終的には町全体の防災力の向上につなげる取り組みです。

沿岸沿いの津波浸水区域では未だ津波避難困難区域があり、町の防災力の向上には、施設整備が喫緊の課題になっています。

このため、津波避難困難区域の解消を図るため、津波避難ビルや津波避難タワーのほか、津波避難路の整備を進める必要があります。

【整備方針】

津波から町民の命を守るためには、いかに早く確実に避難を実施できるかが重要であり、強い揺れを感じたら、すぐに住民一人ひとりが確実に安全な場所に避難できるようにする必要があります。

前述した防災力向上事業によるソフト対策を軸に、津波避難困難区域の解消を図るハード対策も同時にすすめ、津波避難困難者ゼロを目指す災害に強いまちづくりを推進します。

(様式2)計画事業一覧

計画事業一覧

都道府県名	静岡県	市町村名	西伊豆町	計画期間	令和元年度 ~ 令和7年度	
担当部局名	部(局) 防 災 課 防災安全対策係	担当者	(正) 山本 征司 (副) 藤井 崇史 (副) 松田 恵一	連絡先	TEL 0558-52-1965 (内線 432) FAX 0558-52-1906 e-mail bousai@town.nishiizu.lg.jp	

【都市防災総合推進事業】

事業区分	事業主体	事業地区名	地区面積 (ha)	都市防災総合推進事業における事業期間		国費率	交付対象事業費(予定)額【百万円単位】		
				開始年度	終了年度		(参考)事業費	(参考)国費	
地区公共施設等整備	防災まちづくり拠点 (直接) ※経過措置	西伊豆町	宇久須地区	3,166	R2	R4	2/3 用地2/3	104.8 (2/3:100.4、用地2/3:4.4)	69.9 (2/3:66.9、用地2/3:3)
			安良里地区	760	R1	R1	2/3	158.7	100.6
			仁科地区	6,026	R1	R7	2/3 用地2/3	1,154.2 (2/3:1124.1、用地2/3:30.1)	707.0 (2/3:686.9、用地2/3:20.1)
合計							1,417.7 (2/3:1,297.4、用地2/3:28.0)	877.5 (2/3:860.7、用地2/3:18.7)	

注) 補助事業費について百万円単位。

注) 該当のないメニューについては行を削除する等して、なるべく一枚に収まるよう作成してください。

注) 複合施設整備については、設計完了前に補助対象範囲を協議すること。

(様式3)関連事業[都市防災上の課題解決に関連する事業]

事業区分	事業主体	事業地区名	事業規模(面積、延長、幅員等)	総事業費 (国費ベース)	事業期間		事業実施状況	重点密集 市街地の有無
					開始年度	終了年度		
社会資本整備総合交付金事業 (防災・安全交付金事業)	西伊豆町	西伊豆町内	橋梁長寿命化対策事業	267 (158)	H28	R2	町管理橋梁の点検(137橋)を実施し、補修が必要であると診断された橋梁に対して補修工事を行う。	×
農山漁村地域整備交付金事業 (津波・高潮危機管理対策事業(漁港海岸))	西伊豆町	西伊豆町内	津波防災ステーション整備事業	1,840 (920)	H20	R4	仁科・田子・安良里漁港の水門・陸閘の自動化および遠隔操作化を行う。	×
その他(単独事業等) 消防施設・資機材整備事業	西伊豆町	西伊豆町内	消防団詰所高台移転 2箇所	232	H27	H28	津波浸水区域内にあった消防団詰所2箇所を高台に移転した。	×
その他(単独事業等) 消防設備整備事業	西伊豆町	西伊豆町内	消防団指令車 1台 消防ポンプ車 2台 消防ポンプ積載車 5台 防火水槽 1基	133	H28	R4	老朽化した消防団指令車及び消防ポンプ積載車を各1台購入。今後4箇年で消防ポンプ車2台と消防ポンプ積載車4台を購入予定。また防火水槽1基を新設予定。	×
その他(単独事業等) 水道施設配水池耐震化事業	西伊豆町	西伊豆町内	配水池耐震化工事 2箇所 配水池耐震診断 10箇所	465	H25	R4	老朽化した水道配水池の耐震化工事を2箇所実施。今後4年間で耐震診断を10箇所予定。	×
その他(単独事業等) 通信施設整備事業	西伊豆町	西伊豆町内	ビジネス用サーバー整備 90台 衛星携帯電話整備 1台 防災行政無線機器更新 (新エリア対応)	107	H29	R3	移動系無線の設備充実と、同報系無線の新エリア対応を進める。	×
その他(単独事業等)	西伊豆町	西伊豆町内	津波避難路マップ作成	1	H29	H29	町民や災害ボランティアコーディネーター連絡会などによるまちあるきの結果を基に作成。津波浸水区域内住民には各戸配布済。	×
その他(単独事業等)	西伊豆町	西伊豆町内	防災力向上事業業務委託	10	H30	R2	町民が主体となる町民防災会議を立上げ、町内5つの地区(ブロック)毎に行うブロック会議で、地区別避難計画などをまとめ、町民の防災意識と町全体の防災力の向上を図る。	×
その他(単独事業等)	西伊豆町	西伊豆町内	津波避難施設耐浪調査 5棟	18	H30	R2	公共施設が津波に耐えられる施設であるかどうかの調査を行う。H30に2棟、R1に2棟、R2に1棟を実施予定。	×
その他(単独事業等)	西伊豆町	西伊豆町内	津波避難階段設置 3箇所	60	R4	R6	高台があっても逃げる道がないような場所、容易に逃げられるよう、プレハブ式の避難階段を設置する。	×

注) 総事業費について百万円単位。

注) 地域防災計画、地震対策緊急事業五箇年計画等を参照し、関連部局と調整の上作成。

(様式4)年度別事業計画1【参考】

段:当初(変更前)、下段:変更後【百万円単位】

事業区分	事業主体	事業地区名	整備内容	重点密集市街地	国費率	交付対象事業費(予定)額 [国費ベース]								
						令和3年度以前	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度以降	計	
地区公共施設等整備	防災まちづくり拠点 (直接) ※経過措置	西伊豆町	宇久須地区	津波避難タワー 1箇所	×	2/3	2.1	64.8						66.9
							2.1	64.8					66.9	
			用地2/3	3.0						3.0				
				3.0						3.0				
			安良里地区	津波避難タワー 1箇所	×	2/3	100.6		4.7					105.3
							100.6		0					100.6
		仁科地区	津波避難タワー 3箇所	×	2/3	107.2	91.0			126.7			324.9	
	103.6				91.0	4.4		208.7		407.7				
用地2/3	20.1							20.1						
	20.1							20.1						
津波避難施設 1箇所	×	2/3	7.2		307.6					314.8				
			7.2	6.0	266.0					279.2				
合計						240.2	155.8	312.3	0	126.7	0	0	835.0	
						236.6	161.8	270.4	0	208.7	0	0	877.5	

(様式5)年度別事業計画【参考】

○補助額の内訳

[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【百万円単位】

事業地区名	整備内容	整備の内訳	国費率	令和3年度以前	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度以降	計
宇久須地区、 安良里地区、 仁科地区	津波避難タワー 整備5箇所	調査設計	2/3	17.1 17.1	10.5 6.8	4.7 7.5		6.7 8.6			39.0 40.0
		工事	2/3	192.8 192.7	145.3 145.7			120.0 200.0			458.1 538.4
		用地	2/3	23.1 18.7							23.1 18.7
仁科地区	津波避難施設 整備1箇所	調査設計	2/3	7.2 7.2	0.0 6.0	7.6 6.3					14.8 19.5
		工事	2/3			300.0 259.6					300.0 259.6
合計				240.2 235.7	155.8 158.5	312.3 273.4	0.0 0.0	126.7 208.6	0.0 0.0	0.0 0.0	835.0 876.2

○用地取得面積

[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【m2単位】

事業地区名	整備内容	整備の内訳	国費率	令和3年度以前	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度以降	計
宇久須地区、 仁科地区	津波避難タワー 3箇所	用地	2/3	1451.0 1607.0							1451.0 1607.0

(様式6) 現況図 等



(様式6) 現況図 等 [静岡県西伊豆町 津波避難困難者ゼロプログラム]

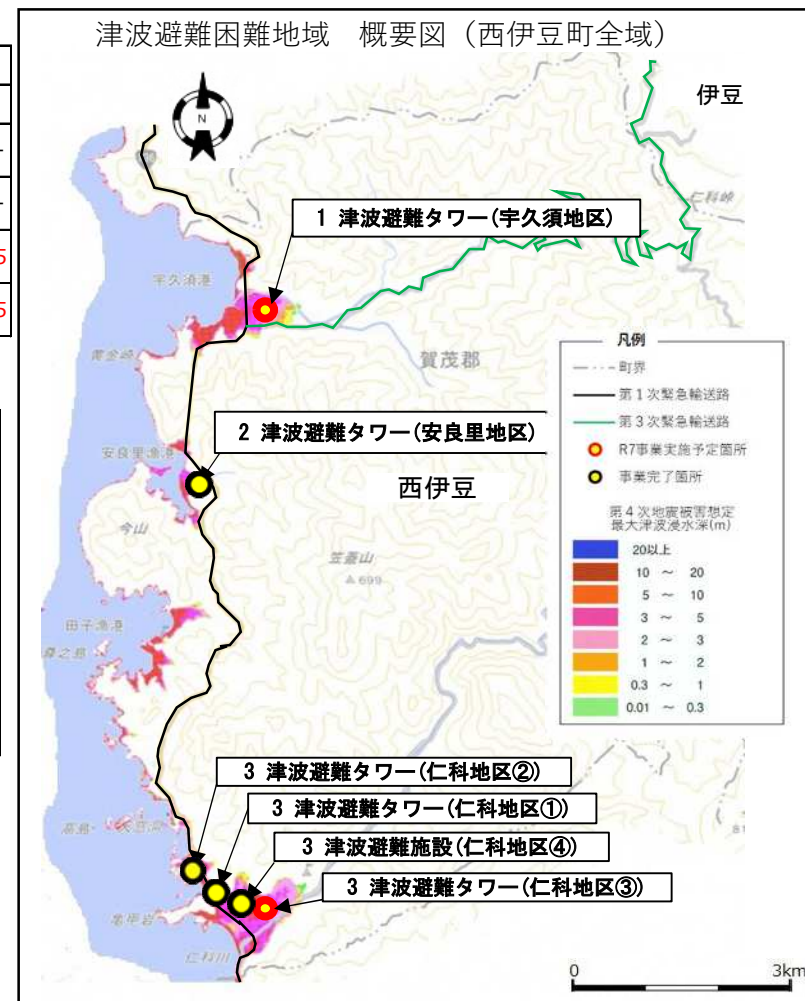
地区名	西伊豆地区(静岡県西伊豆町)	面積	48ha	避難困難者数	1,507人	区域	静岡県西伊豆町
-----	----------------	----	------	--------	--------	----	---------

1. 津波避難困難者の解消計画

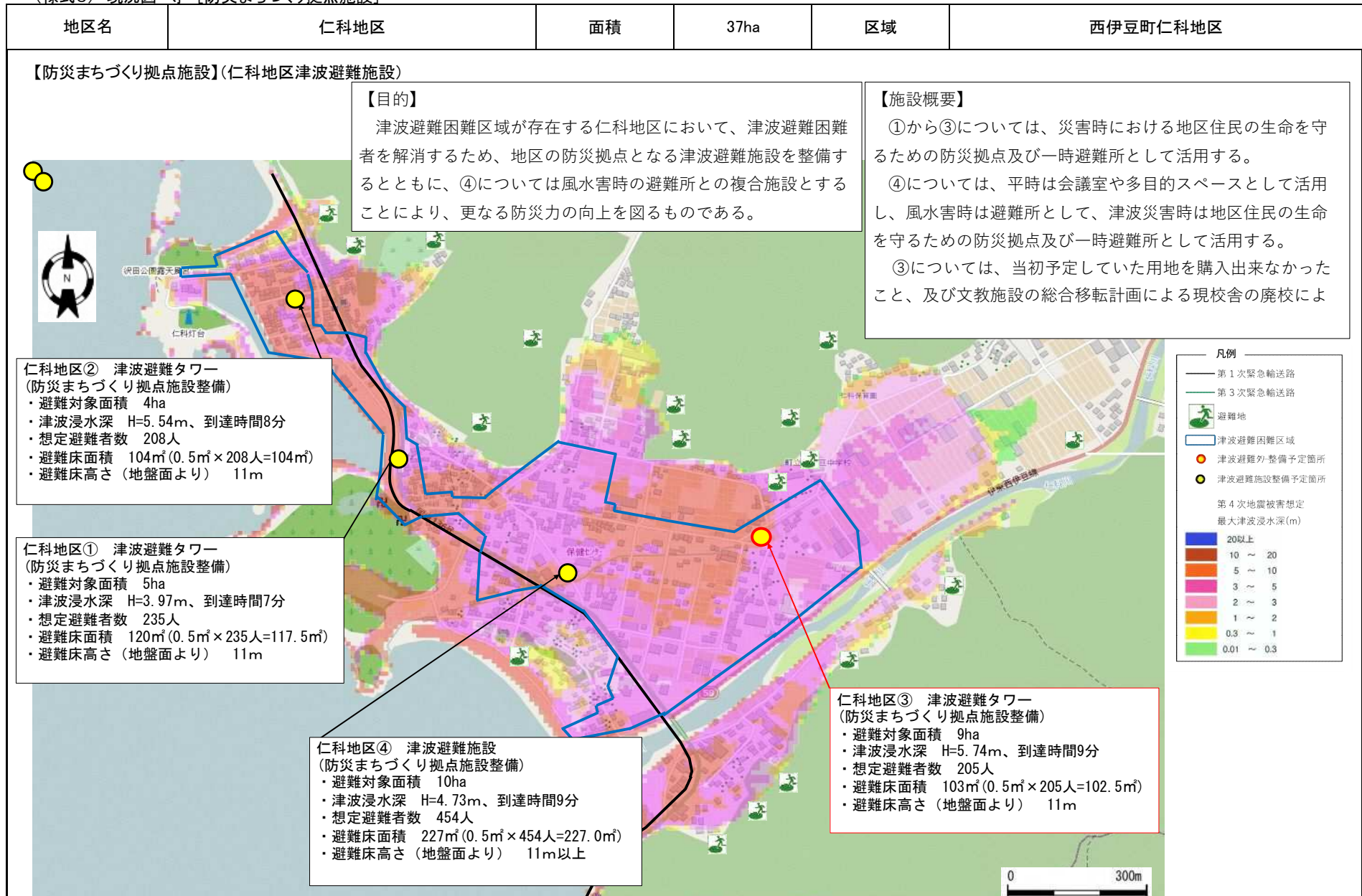
地区名	地区面積 (ha)	避難困難 者数(人)	避難困難者解消 目標年度						
			R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
1 宇久須地区	8	117	0	0	0	117	-	-	-
2 安良里地区	3	270	270	-	-	-	-	-	-
3 仁科地区	33	1,102	235	0	0	208	454	0	205
計	44	1,489	505	0	0	325	454	0	205

2. 津波避難施設の整備計画

地区名等	整備内容	整備 目標年度							事業費 (百万円)	国費 (百万円)
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
1 宇久須地区	用地購入・設計				工事				13.78	69.9
									104.8	69.9
2 安良里地区	工事								158.8	100.6
									158.7	100.6
3 仁科地区①	工事								151.8	101.2
									151.8	101.1
3 仁科地区②	用地購入・設計				工事				191.4	97.5
									145.6	97.5
3 仁科地区③	用地購入・調査					設計		工事	225.9	154.7
									355.7	237.0
3 仁科地区④	設計					工事			535.1	345.9
									432.8	273.2
計									1400.8	869.8
									1349.4	879.3



(様式6) 現況図 等 [防災まちづくり拠点施設]



(様式6) 現況図等 [防災まちづくり拠点施設]

地区名	宇久須地区	面積	8ha	区域	西伊豆町宇久須地区
-----	-------	----	-----	----	-----------

【防災まちづくり拠点施設】(宇久須地区津波避難施設)

【目的】

津波避難困難区域が存在する宇久須地区において、津波避難困難者を解消するため、地区の防災拠点となる津波避難施設を整備することにより、更なる防災力の向上を図るものである。

【施設概要】

災害時における地区住民の生命を守るための防災拠点及び一時避難所として活用する。



宇久須地区 津波避難タワー
(防災まちづくり拠点施設整備)
 ・避難対象面積 8ha
 ・津波浸水深 H=2.74m、到達時間8分
 ・想定避難者数 117人
 ・避難床面積 60㎡ (0.5㎡×117人=58.5㎡)
 ・避難床高さ (地盤面より) 7m



(様式6) 現況図 等 [防災まちづくり拠点施設]

地区名	安良里地区	面積	3ha	区域	西伊豆町安良里地区
-----	-------	----	-----	----	-----------

【防災まちづくり拠点施設】(安良里地区津波避難施設)



安良里地区 津波避難タワー
(防災まちづくり拠点施設整備)
 ・避難対象面積 3ha
 ・津波浸水深 H=1.89m、到達時間8分
 ・想定避難者数 270人
 ・避難床面積 135㎡(0.5㎡×270人=135㎡)
 ・避難床高さ(地盤面より) 7m

【目的】
 津波避難困難区域が存在する安良里地区において、津波避難困難者を解消するため、地区の防災拠点となる津波避難施設を整備することにより、更なる防災力の向上を図るものである。

【施設概要】
 災害時における地区住民の生命を守るための防災拠点及び一時避難所として活用する。

- 凡例
- 第1次緊急輸送路
 - 第3次緊急輸送路
 - 避難地
 - 津波避難困難区域
 - 津波避難外整備予定箇所
 - 津波避難施設整備予定箇所
 - 第4次地震被害想定
最大津波浸水深(m)
 - 20以上
 - 10 ~ 20
 - 5 ~ 10
 - 3 ~ 5
 - 2 ~ 3
 - 1 ~ 2
 - 0.3 ~ 1
 - 0.01 ~ 0.3